

委員会は、

1. 日本が「山・鉾・屋台行事」（No. 01059）を代表一覧表に提案したことを確認する
2. 提案書に含まれている情報をもとに、5つの基準を満たしていると決定する
3. 代表一覧表に「山・鉾・屋台行事」を記載する
4. 日本が以前代表一覧表に記載されていた案件を国レベルで拡張し、再提出したことを称賛する
5. 日本が提案された案件で環境への影響に注目し、案件に関係する自然資源の継続的使用を保証する策を強調したことを更に称賛する
6. 運営指示書のI. 6に従い、この記載は2009年に記載された「日立風流物」と「京都祇園祭の山鉾行事」に替えるものであることを確認する

注1）上記4. については、「京都祇園祭の山鉾行事」及び「日立風流物」を拡張し、国指定重要無形民俗文化財33件をグループ化して提案したことを意味している。

注2）上記5. については、山・鉾・屋台の原材料には、各地域の自然環境から得られた木材が用いられており、コミュニティがそれぞれ、適材の把握、将来にわたる持続可能な方法での木材を中心とした用具確保、木材伐採後の景観維持に知恵を働かせてきた点を評価したもの。

※詳細は別添原文参照